

# 障がい者総合福祉計画具体的施策の実施状況

平成25年8月

春日井市健康福祉部障がい福祉課

## I 啓発と交流

### ① 啓発・広報活動の推進

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	広報紙、ホームページを活用し、障がい者の日・障がい者週間に合わせた啓発を行います。	12月1日号広報に特集記事（福祉制度、サービス、障がい者生活支援センターの紹介）を掲載	障がい福祉課
イ	各種講演会を開催します。	【障がい理解・啓発事業講演会】 相談支援事業所連絡会主催 ・実施日：平成25年1月22日（火） ・参加者：46人	障がい福祉課
ウ	チームメッセンジャーによる障がいについての正しい知識の普及・啓発活動を実施します。	特別支援教育コーディネーター等に向けて実施 回数：6回	障がい福祉課
エ	春日井まつりにおいて、ブースを設け、啓発活動を実施します。	庁舎内展示スペースにて、手話通訳・点字の体験及び各施設の紹介を掲示 参加者：424人	障がい福祉課
オ	障がい者作品展を行います。	障がい者週間に市役所市民ホールで開催 実施日：12月5日（水）～11日（火）	障がい福祉課
カ	障がい疑似体験（ハンディキャップシミュレーション）を促進します。	・春日井まつりで、点字体験、手話体験を実施 参加者：424人 ・学校で車いす体験等を実施 車椅子（体験用）：23件 アイマスク、白杖、点字ブロック：24件	障がい福祉課 社会福祉協議会
キ	障害者の権利に関する条約（仮称）及び障がい者関連法令の周知を図ります。	障がい者虐待防止についての啓発チラシを作成・配布	障がい福祉課
ク	「こころの健康講座」により精神保健福祉に関する啓発を推進します。	・講座「発達障がいってなあに？～小さな親切 大きなお世話にしないためのヒント」 参加者数：80名 ・講座「笑い与健康～一笑一若」 参加者数：60名 (NPOネットワーク駒来の家、保健所、ボランティア連絡協議会、社協、市の共催)	障がい福祉課

## ② 地域福祉活動の推進

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	地域における交流・ふれあいの場づくりを推進します。	<p>【第32回福祉のつどい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：11月10日</li> <li>・来場者数：9,800人</li> <li>・内容：ハンドベルの演奏、障がい者のカラオケ・演奏、パーカッション（打楽器）によるコンサート、当事者団体等による出店、ゲームなどによる交流など</li> </ul> <p>【合同クリスマス会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：12月16日</li> <li>・参加者数：512人（市内の障害者施設、在宅の身体・知的・精神障害児者）</li> <li>・内容：ステージ企画・市長等によりキャンドルサービスとプレゼント配付など</li> </ul>	社会福祉協議会
イ	見守りネットワーク事業への取組を支援します。	<p>【小地域ネットワーク事業】・新聞、照明などの確認、絵手紙往復葉書による安否確認等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施地区：5地区</li> <li>・対象者：高齢者、障がい者、児童</li> </ul>	社会福祉協議会

## ③ 障がい福祉教育の充実

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	障がい福祉教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉機材貸出：小学校52校、中学校6校、高等学校5校、その他4校 合計67校</li> <li>・内訳：車椅子体験20回、点字体験21回、盲導犬4回、ガイドヘルプ体験23回、シルバー疑似体験24回、要約筆記体験 4回</li> </ul> <p>【福祉体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回数：小学校 26校（72回）、中学校 9校（11回）</li> </ul>	社会福祉協議会
イ	障がいのある子どもと障がいのない子どもや地域の人達がともに活動する交流学習を推進します。	<p>【けやきの子運動会】 市内特別支援学級担当者が実施する連合運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：10月24日</li> <li>・参加者：春日台養護学校の児童・生徒約50名、春日井市内の特別支援学級の児童生徒317名</li> </ul> <p>【作品展】 市内特別支援学級担当者が実施。春日台養護学校、春日井高等養護学校、小牧養護学校の児童・生徒が出品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：1月9日～1月17日</li> </ul> <p>【交流及び共同学習】 名古屋聾学校、小牧養護学校、名古屋盲学校、千種聾学校に通学している児童生徒が、居住する学区の小中学校での交流及び共同学習を実施（中学校1校、小学校9校）。</p>	学校教育課

#### ④ ボランティア活動の推進

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	点字・点訳・要約筆記・手話・音声訳など各種ボランティア育成講座を開催します。	点訳奉仕員養成講座、要約筆記奉仕員養成講座、手話奉仕員養成講座（入門・レベルアップ） ・参加者：1,260人	社会福祉協議会
		【やさしい手話講座】高蔵寺ふれあいセンターで実施 ・実施期間：10月から11月まで 全6回 ・受講者数：延べ92人	生涯学習課
		【音訳技術講習会(初級編)】 12回 参加者：17人 【音訳デジタル録音技術講習会】 3回 参加者：89人	図書館
イ	ボランティア活動の情報提供やボランティアのコーディネートなど各種のボランティア活動を支援します。	ささえ愛センター内でボランティア活動に関する情報提供とコーディネート ・相談者数：760人 ・コーディネーター：5人	社会福祉協議会
		・市民活動支援センター利用者：延べ46,070人 ・ボランティア団体の市民活動支援センターへの団体登録：174団体 ・ボランティア団体の市民活動情報サイトへの登録：142団体	市民活動支援センター

## II 保健・医療

### ① 障がいの原因となる疾病などの予防・早期発見及び障がいの軽減

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	各種健診の受診の促進を図るとともに、健康診査の結果に基づき、保健指導を実施します。	【特定健康診査（国民健康保険）】 ・対象者：52,802人 ・受診者：17,580人 【特定保健指導（国民健康保険）】 ・対象者：積極的支援437人、動機づけ支援1,495人 ・利用者（利用率）194人（10%） 【後期高齢者健康診査】 ・対象者：27,337人 ・受診者：7,445人	保険医療年金課
イ	身近な市の相談窓口で、メンタルヘルス相談を実施します。	・相談件数：精神科医師18件、臨床心理士26件、精神保健福祉士等119件	健康増進課

ウ	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つよう啓発します。	健康ガイドにかかりつけ医の啓発文を掲載	健康増進課
エ	各種のリハビリテーション事業を推進します。	<b>【月例動作訓練会】</b> 年11回 参加者：延べ659人 <b>【1週間キャンプ】</b> 8月4日～8月9日 5泊6日（犬山市・サンパーク犬山） <b>【音楽療法】</b> 年24回（月2回） 参加者：1,234人 <b>【心理リハビリテーション】</b> 年43回（月4回） 参加者：446人	社会福祉協議会

## ② 子どもの障がいの早期発見・早期療育体制の確立

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	乳幼児健康診査の結果を踏まえ、必要に応じて健康相談や訪問指導をします。	<b>【発達相談】</b> 健康管理センター及び保健センターで実施 ・年130回 ・面接児：175人	子ども政策課
		<b>【新生児聴覚スクリーニング】</b> 耳鼻いんこう科外来において、難聴の早期発見を目的に新生児を対象として、聴覚検査を実施 ・受診者：387件	医事課
イ	療育についての理解を深める講座を開催します。	<b>【障害児等療育支援事業】</b> ・回数：保育園3回、幼稚園7回、親子通所3回、生活介護3回、その他（講演会）3回	障がい福祉課
ウ	言語訓練事業を充実します。	<b>【ことばの教室】</b> 1人につき1月2回実施 ・実施回数：延べ608回 ・参加者： 延べ幼児1,247人、小学生772人	子ども政策課
エ	児童発達支援、放課後等デイサービス、相談支援、保育所等訪問支援等の事業について、事業者に対し、事業の拡大や受け入れ体制の拡充が図られるよう努めます。	児童発達支援事業所（市内24か所。うち親子通所療育実施事業所8か所） ・利用者：延べ1,968人	障がい福祉課
オ	発達・言語に心配のある子どもと親同士の交流を支援します。	<b>【おやこ教室】</b> ・回数：36回 ・参加者：334人	子ども政策課
カ	愛知県心身障害者コロニーと連携し、地域での早期療育体制の充実に努めます。	<b>【障害児等療育支援事業】</b> ・回数：保育園3回、幼稚園7回、親子通所3回、生活介護3回、その他（講演会）3回	障がい福祉課

③ 精神保健福祉施策の推進

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	精神障がいのある人の社会復帰を支援します。	<p>【相談支援】障がい者生活支援センターJHNまあるに委託</p> <p>【グループ活動（まねきねこ）】年12回、参加者：延べ45人 (NPO法人ネットワーク駒来の家、春日井市の共催)</p>	障がい福祉課
		<p>【障がい者の居場所・交流の場づくり事業】障がいのある人に居場所を提供する事業に対し、補助金を交付。</p> <p>・助成対象：3事業</p> <p>・助成金額：計232,432円</p>	障がい福祉課
イ	精神障がいのある人の退院の促進を図ります。	<p>ケース会議などを通し、相談支援センターや医療機関と連携して退院に向けての支援を実施</p> <p>・参加回数：2回（精神障がい 2人各1回）</p>	障がい福祉課
ウ	グループホーム・ケアホームの整備の推進に努めます。	<p>【障がい者福祉施設整備補助】</p> <p>精神障がいのある人のためのGH・CHの申請なし</p>	障がい福祉課
エ	精神障がいのある人の医療費を助成します。	<p>医療保険適用後の入院・通院医療費の自己負担額を助成</p> <p>・対象：精神障がい者保健福祉手帳1級又は2級所持者…入院全額及び通院1/2相当額助成（全疾患） 自立支援医療受給者…精神通院（指定医療機関に限る。）</p> <p>・受給者数：精神障がい者保健福祉手帳1級又は2級所持者 959人 自立支援医療受給者 2,287人（うち手帳所持者784人、自立支援医療のみ1,503人）</p> <p>・給付額：精神障がい者保健福祉手帳1級又は2級所持者 入院 56,960,286円 通院 1,887,140円 自立支援医療受給者 61,460,328円</p>	保険医療年金課

### Ⅲ 保育・教育

#### ① 障がい児保育の充実

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	障がい児保育を実施します。	建替工事完了し、第三保育園が事業再開。建替工事開始のため神領保育園が1年間事業休止。 ・実施園 16園（公立 14園、私立 2園） ・障がい児童数 153人（公立141人、私立12人）	保育課
イ	臨床心理士等による保育園巡回により、保育士と保護者に子どもへの支援方法を指導します。	・臨床心理士による指導 40園 ・障がい児巡回相談 16園	保育課
ウ	研修等により、保育士の障がいに関する知識や技術の向上を図ります。	・障がい児保育関係研修 7回 620人 ・障害児等療育支援事業 3園	保育課

#### ② 特別支援教育等の充実

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	特別支援教育コーディネーターを育成します。	【特別支援学級担当者会】 7回/年 90人 【就学指導講習会】 1回/年 54人 【特別支援教育コーディネーター研修】 1回/年 54人 【特別支援学級担当者研修会】 1回/年 90人	学校教育課
イ	特別支援教育支援員の配置に向けて取組を進めます。	・介助員4人（3校）を肢体不自由児学級に配置	学校教育課
ウ	未就学児の早期教育相談や児童生徒の就学指導を実施します。	・教育委員会窓口における就学相談（随時）：200件 ・愛知県教育委員会や県立特別支援学校などの実施する教育相談を紹介：20件 ・市内小学校の特別支援学級の見学：55件 ・市内小中学校の専門委員、コーディネーターのための研修：1回、参加者：54人 ・市内小中学校で校内就学指導委員会を組織し、適正な就学についてアドバイスを実施。 ・春日井市就学指導委員会を組織し、適正な就学についてアドバイスを実施。 ・発達障がい相談 年98回実施	学校教育課
エ	特別支援教育連携協議会の設置に向けて研究します。	近隣市町の状況を確認しながら、特別支援教育連携協議会の設置に向けて検討	学校教育課

オ	小・中学校の建物などのバリアフリー化を進めます。	岩成台西小学校始め8校の特別支援学級のトイレを洋式化（ウォシュレット、手摺取り付け、ブースの拡大）	学校教育課
カ	放課後児童健全育成事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置箇所：33か所 うち障がい児受入施設 26か所</li> <li>・指導員加配施設：7か所</li> <li>・障がい児：54人（手帳所持者のほか発達障がい等含む。）</li> </ul>	子ども政策課

### ③ 障がい児の居宅生活の支援等の充実

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	児童発達支援、放課後等デイサービス、相談支援、保育所等訪問支援等の事業について、事業者に対し、事業の拡大や受け入れ体制の拡充が図られるよう努めます。	市内事業所数（定員） <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援：20か所（183人）</li> <li>・放課後等デイサービス：22か所（217人）</li> <li>・相談支援：2か所</li> <li>・保育所等訪問支援：0か所</li> </ul>	障がい福祉課
イ	児童発達支援、放課後等デイサービス、相談支援、保育所等訪問支援等について、専門的人材の育成・確保及びその質的向上が図られるよう努めます。		障がい福祉課
ウ	障がい者生活支援センターの相談員の研修への参加を促進し、資質の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県社会福祉協議会の研修案内、その他随時の研修の案内を実施</li> <li>・相談支援事業所連絡会で事例検討・学習会を実施</li> </ul>	障がい福祉課
エ	障がい者生活支援センターの周知に努めます。	12月1日号広報に特集記事を掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数：6,249件 ・相談実人員：990人</li> <li>・相談窓口：5か所（4事業所） ・相談員数：9名</li> </ul>	障がい福祉課
オ	サポートブックの活用により、障がいのある人の一貫した支援が図られるよう努めます。	サポートブックを作成・配付	障がい福祉課
カ	児童発達支援センターを拠点とした障がいのある子どもの支援体制について研究します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の児童発達支援センター 1か所</li> <li>・児童発達支援センター職員が障がい児等療育支援事業に参加（平成24年12月7日、平成25年1月29日）</li> </ul>	障がい福祉課



## IV 雇用・就労

### ① 障がい者雇用の促進

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	障がいのある人の雇用や就労問題に関する啓発活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、尾張北部就業・生活支援センターようわ、愛知障害者職業センター、ハローワーク就労移行支援事業所、就労継続支援事業所を紹介</li> <li>・自立支援協議会の日中活動部会において、上記の機関と連携し、情報を共有するとともに、地域の課題について検討。 ・日中活動部会開催：12回</li> </ul>	障がい福祉課
		<b>【知的障がい者の臨時職員採用】</b> 平成24年12月1日に1名採用、図書館で事務従事	人事課
イ	就労のための相談支援や就労に関する情報提供を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、尾張北部就業・生活支援センターようわ、愛知障害者職業センター、ハローワーク就労移行支援事業所、就労継続支援事業所を紹介</li> <li>・自立支援協議会の日中活動部会において、上記の機関と連携し、情報を共有するとともに、地域の課題について検討。 ・日中活動部会開催：12回</li> </ul>	障がい福祉課
ウ	障がい者雇用促進企業等物品等調達優遇制度を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年1月4日から2月15日まで登録受付</li> <li>・名簿登録：2企業、5施設</li> </ul>	総務課
エ	職場の施設や設備のバリアフリー化を推進します。	<b>【職場環境向上助成事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定件数 0件</li> </ul>	企業活動支援課
オ	障がい者就業・生活支援センター等と連携し、障がい者の雇用の促進に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、尾張北部就業・生活支援センターを紹介</li> <li>・情報交換、連絡会議への出席</li> </ul>	障がい福祉課

### ② 福祉的就労の充実

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	障がい福祉サービス事業所の整備を支援します。	<b>【障がい者福祉施設整備補助】</b> 共同生活介護施設 1件 6,633,000円	障がい福祉課
イ	障がいのある人が作った物品の販売を促進します。	<b>【元気ショップ】</b> 曜日ごとに市役所庁舎内及び市民病院で7つの事業所が出店（あざみの家・ワーカー鷹来・なかぎりワークス・けやきの家・ナップの森・かすがいフォレスト、ラズベリージョブズ） ・庁舎内：427回、9,869,970円売上 ・市民病院：118回、4,328,110円売上	障がい福祉課

## V 生活支援

### ① 障がい福祉サービスの充実

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	居宅介護、生活介護等のサービス事業者に対し、事業の拡大や受け入れ体制の拡充が図られるよう努めるとともに、設置を支援します。	【障がい福祉サービス】 ・居宅介護：3,620人 85,660時間 ・日中活動系：10,345人 189,715日 ・居住系：3,359人 93,071日 ・短期入所：925人 5,381日 ・補装具：410件	障がい福祉課
イ	障がいのある人の自立した生活を支え、課題の解決やサービスの利用を円滑にするために計画相談支援の利用を促進します。	計画相談支援利用者：13人 29件	障がい福祉課
ウ	居宅介護、生活介護等のサービス事業者に専門的人材の育成・確保及びその質的向上が図られるよう努めます。	愛知県が行う障がい福祉サービス事業所に対する実地指導に同行し、指導を実施	障がい福祉課
エ	居宅介護、生活介護等のサービス事業者にたん吸引等の医療的ケアを行うことができる人材の育成・確保が図られるよう努めます。	地域自立支援協議会（医療部会）において、医療的ケアに関する研修会を実施 ・実施日 平成24年9月19日（水） ・参加者 63人	障がい福祉課
オ	居宅介護、生活介護等のサービス事業者に対し、人員配置等の基準について指導を徹底するとともに、利用者のニーズについて、積極的に意向を聴取するよう努めます。	愛知県が行う障がい福祉サービス事業所に対する実地指導に同行し、指導を実施	障がい福祉課
カ	福祉作業所の機能の拡充を図るとともに、事業の拡大など今後の方向性について検討します。	平成24年4月1日から居宅介護、移動支援事業、重度訪問介護を実施	障がい福祉課

### ② 地域生活支援事業の充実

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	コミュニケーション支援、移動支援、地域活動支援センター、日中一時支援、生活サポート、訪問入浴、日常生活用具給付事業を実施します。	【地域生活支援事業実績】 ・移動支援：4,301人 20,512時間 ・地域活動支援センター：1,570人 8,969日 ・日中一時支援：1,696人 8,033日 ・訪問入浴：295人 1,248回 ・日常生活用具：5,540件	障がい福祉課

イ	移動支援、地域活動支援センター、日中一時支援、生活サポート、訪問入浴（以下「地域生活支援サービス」といいます。）のサービス事業者に対し、事業の拡大や受け入れ体制の拡充が図られるよう努めます。	【地域生活支援事業事業所数】 ・移動支援：46箇所 ・地域活動支援センター：14箇所 ・日中一時支援19箇所 ・訪問入浴：9箇所	障がい福祉課
ウ	地域生活支援サービスのサービス事業者に専門的人材の育成・確保及びその質的向上が図られるよう努めます。	地域生活支援事業所10事業所に対し、実地指導を実施	障がい福祉課
エ	地域生活支援サービスのサービス事業者にたん吸引等の医療的ケアを行うことができる人材の育成・確保が図られるよう努めます。	【医療的ケアに関する研修会】 ・第1回：平成24年9月19日 71人参加 ・第2回：平成25年3月19日 35人参加	障がい福祉課
オ	地域生活支援サービスの事業所の指定基準の遵守及び個別支援計画の作成状況について確認し、指導します。	地域生活支援事業所10事業所に対し、実地指導を実施	障がい福祉課
カ	地域の課題の解決を図り、障がいのある人の生活を支援します。	地域自立支援協議会定例会議 年3回	障がい福祉課
キ	障がい者生活支援センターの相談員の研修への参加を促進し、資質の向上を図ります。	・愛知県社会福祉協議会の研修案内、その他随時の研修の案内を実施 ・相談支援事業所連絡会で事例検討・学習会を実施	障がい福祉課
ク	障がい者生活支援センターの周知に努めます。	12月1日号広報に特集記事を掲載	障がい福祉課
ケ	基幹相談支援センターの設置を含め、障がい者生活支援センター等における相談体制について検討します。	【障がい者生活支援センター】 ・相談件数：6,249件 ・相談実人員：990人 ・相談窓口：4か所・相談員数：9名	障がい福祉課
コ	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律に基づき、関係機関の連携体制の強化や相談体制の整備、啓発などを検討し、実施します。	障害者虐待防止法が施行にあわせ、市に障害者虐待防止センターを設置し、ホットラインの開設。 ・通報件数：5件（うち認定4件） ・届出件数：2件（うち認定1件）	障がい福祉課

③ 障がい児の居宅生活の支援等の充実 P7に掲載

④ 自立した生活を支えるサービスの推進

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	障がいのある人の福祉の増進を図るため、手当を支給します。	<b>【心身障害者扶助料】</b> ・受給者：11,533人 ・支給総額：502,950千円 <b>【特定疾患患者等健康管理手当】</b> ・受給者：1,542人 ・支給総額：61,026千円 <b>【外国人重度障がい者福祉手当】</b> ・受給者：1人 ・支給総額：120千円	障がい福祉課
イ	日常的な金銭の管理、安否確認、家事の提供、昼食の配食、家庭ごみの収集、車いすの貸出、寝具乾燥など障がいのある人の日常生活に必要なサポートを行います。	<b>【日常生活自立支援事業】</b> ・相談受付件数：認知症高齢者587件、知的障がい者271件、精神障がい者292件 ・援助者数： 認知症高齢者38人、知的障がい者13人、精神障がい者12人 ・生活支援員数：28人	社会福祉協議会
		<b>【寝具乾燥サービス】</b> ・利用者：19人 ・利用件数：47件	障がい福祉課
		<b>【車いすの貸出】</b> ・利用件数：170件	障がい福祉課
		<b>【配食サービス利用助成】</b> ・助成額：1食あたり300円（弁当代金との差額は利用者が負担） ・利用者：509人 ・利用世帯：440世帯 ・延配食数：72,107食	高齢福祉課
		<b>【さわやか収集事業】</b> ・利用世帯：232件	清掃事業所
ウ	障がいのある人の外出を支援するとともに、必要な交通費の一部を助成します。	・タクシー券利用実績：55,426件、34,823千円 ・ガソリン券利用実績：26,393件、31,672千円 ・リフト付タクシー券利用実績：1,529件、1,868千円	障がい福祉課
		障がい手帳所持者のシティバス利用者の運賃を減免	交通対策課
		<b>【勝川駅前地下駐車場、勝川駅南口立体駐車場料金の減免】</b> 3時間までの通常使用料の50%を減免 ・減免件数：勝川駅前地下駐車場 1,107件、勝川駅南口立体駐車場 155件	都市整備課
エ	障がいのある人の医療費の一部や、福祉サービスを利用する際に必要な健康診断書料の一部を助成します。	<b>【心身障がい者医療】</b> ・受給者：3,161人 ・1人当たり支給額：157,103円	保険医療年金課
		<b>【健康診断書料助成】</b> ・利用件数：14件	障がい福祉課
オ	盲導犬、介助犬、聴導犬などの身体障がい者補助犬制度の普及啓発に努めます。	障がい者週間に補助犬を含む障がいに関するマークのパネル展示を実施	障がい福祉課

カ	障がい者相談員を設置します。	【相談員（相談件数）】・身体障がい者相談員 7人（76件） ・知的障がい者相談員 5人（9件）	障がい福祉課
キ	家族と離れて地域生活を体験する宿泊体験事業の効果的な実施方法について研究します。	【GH・CH体験利用】連続30日、年間50日の範囲で支給決定 ・支給決定 1人	障がい福祉課
ク	障がいのある人の居場所づくりを支援します。	【障がい者の居場所・交流の場づくり事業】障がいのある人に居場所を提供する事業に対し、補助金を交付。 ・助成対象：3事業 ・助成金額：計232,432円	障がい福祉課
ケ	障がいのある人の成年後見制度の利用を容易にするための方法について研究します。	・市民後見人講座の実施について検討。 ・豊川市、高浜市を視察	障がい福祉課 高齢福祉課

## VI 生活環境

### ① 福祉のまちづくりの推進

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	障がいのある人などに配慮した歩道や公園の整備を推進します。	【あんしん歩行エリア】（春日井八幡地区） 市道1300号線 L=240m 【バリアフリー新法 重点整備地区】市役所周辺 市道207号線 L=123.6m 市道128号線 L=42.1m	道路課
		【公園整備】道風公園、はば公園、松新東公園、鷹来公園	公園緑地課
イ	障がいのある人などに配慮した駅や公共施設の整備を推進します。	【JR春日井駅】自由通路等新設に伴う駅のバリアフリー化に着手するとともに、周辺のバリアフリー化などに向けた関係者協議等実施 【名鉄味美駅】駅のバリアフリー化などに向けた関係者協議等実施	都市政策課
		市役所庁舎駐車場に思いやり駐車場の追加 ・東時間外駐車場2台 ・地下1階駐車場4台	総務課
		【知多公民館】昭和50年1月から、地域の学習の拠点として利用されてきたが、耐震診断において補強が必要であると診断されたため建替えるもの。開設時期：平成26年1月 ・建物配置：1階 会議室、多目的集会室、図書コーナー、展示・交流スペース、事務室、赤ちゃんほっとスペース、トイレ、多目的トイレ、更衣室 2階 ホール、トイレ、器具庫、防災備蓄庫	生涯学習課

ウ	「はあとふるライナー」を充実します。	【かすがいシティバス】東環状線、西環状線、北部線、南部線の4路線を市内で運行 【年間利用者数】東環状線183,096人 西環状線55,079人 北部線14,781人 南部線31,910人	交通対策課
---	--------------------	--	-------

## ② 住環境の整備

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	市営住宅の再整備にあわせて、障がいのある人などに配慮した住宅の整備を推進します。	・市営住宅総合再生計画を改訂 ・新西島住宅の建設を取りやめ、既存の下原住宅用地の有効利用を図るため、その用地で建替える計画に変更。	住宅施設課
イ	身体障がいのある人の住宅改修費の一部を助成します。	・給付件数：7件	障がい福祉課

## ③ 防火・防災・防犯対策の充実

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	緊急時の情報提供・通信体制を整備します。	・安全安心ネットワーク登録者：11,667人	市民安全課
イ	災害時要援護者の支え合いマップづくりを推進し、地域における災害時の支え合い、助け合いを進めます。	・要援護者避難支援対象者：1,116人（うち障がい者365人） ・安否確認対象者リスト：14,526人（うち障がい者5,808人）	高齢福祉課
ウ	福祉施設において障がいのある人の防火・防災訓練を実施します。	自力避難困難者が入所している小規模福祉施設（障害者支援施設、短期入所施設、共同生活介護施設など）で消防訓練を実施 ・訓練実施回数：40回	予防課
エ	障がいのある人やその家族に対する防犯知識の普及と啓発を図ります。	町内会や老人クラブの依頼により防犯教室を実施 ・年10回開催	市民安全課

## Ⅶ スポーツ・文化・レクリエーション活動

### ① スポーツ・レクリエーション活動の推進

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	国際的及び全国的規模のスポーツ大会で優秀な成績をおさめた者に「春日井市スポーツ賞」としてその功績を顕彰します。	・特別賞： 個人 25人（うち障がい者7人） 団体 2団体 ・一般賞： 個人 13人（うち障がい者4人）	スポーツ課
イ	福祉文化体育館（サン・アビリティーズ春日井）を中心に障がいのある人を対象とする各種事業の充実に努めます。	【障がい者スポーツ教養文化講座】ソフトバレーボール講座、ボッチャ講座など ・参加者：計158人 【「交流の日」事業】アキュラシー講座、カローリング講座など ・参加者：計629人	社会福祉協議会
ウ	温水プールなどの利用料金を減免します。	障がい者利用状況(介護者1名も含む) ・男性 大人3,589人、小人208人・女性 大人2,418人、小人110人 計 6,325人	スポーツ課

### ② 文化活動の推進

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	市が主催する講演会や展覧会などの文化活動の場において、手話通訳者や要約筆記者などを設置します。	・手話通訳者：22件 ・要約筆記者：2件	障がい福祉課
イ	社会福祉協議会が実施するパソコン講座など各種講座の開催を支援します。	【手とり足とりパソコン講座】 ・障がい者編 4回講座×2回 受講者：延べ8人 ・視覚障がい者編 4回講座×1回 受講者：延べ14人	社会福祉協議会
ウ	障がいのある人の創作活動や、音楽・芸能活動を支援します。	【障がい者作品展】障がい者週間に市役所市民ホールで開催	障がい福祉課
エ	社会福祉協議会が実施する地域住民が誰でも参加できるいきいきサロンを支援します。	【いきいきサロン事業】12地区13事業（うち3地区が障がい者対象） ・回数：延べ194回 ・参加者：延べ5,563人	社会福祉協議会
オ	図書館の録音図書、点字図書の蔵書を充実し、ボランティアによる対面読書サービスの活用を推進します。	【録音図書・点字図書の作製】デジタイズ図書23種、点字データ67種 【対面読書】利用者：66人	図書館

カ	図書館の図書無料郵送貸出を実施します。	・利用点数：147点	図書館
キ	芸術・文化活動に関する指導者や活動を支えるボランティアなど、人材の育成及び確保に努めます。	点訳奉仕員養成講座、要約筆記奉仕員養成講座、手話奉仕員養成講座（入門・レベルアップ） ・参加者：1,260人	社会福祉協議会
		【やさしい手話講座】高蔵寺ふれあいセンターで実施 ・実施期間：10月から11月まで 全6回 ・受講者数：延べ92人	生涯学習課

## Ⅷ 情報・コミュニケーション

### ① 情報・コミュニケーションの充実

	具体的施策	平成24年度実績	担当課等
ア	ホームページや冊子などにより制度やサービス内容について周知します。	障がい福祉サービスガイドの作成、配布 ・部数：3,000部	障がい福祉課
イ	視覚障がいや聴覚障がいのある人などに配慮した情報提供を進めます。	【市政情報サービス（ホームページ・モバイルサイト）】 ・ホームページアクセス数：8,928,300件 ・モバイルサイトアクセス数：497,684件 ・メール配信回数：235回 ・メール配信サービス登録者数：3,111名 【声の広報かすがい】 ・発行回数：24回 ・利用者：50人	広報広聴課
		【声のかすがい市議会だより】 年5回、ボランティアの協力のもと「声のかすがい市議会だより」として、市議会だよりを録音編集し、視覚障がいのある人に情報提供を実施	議会事務局
ウ	福祉に関する情報提供をわかりやすく、充実した内容とします。	障がい福祉サービスガイドの作成、配布 ・部数：3,000部	障がい福祉課
エ	市役所に手話通訳者を設置するとともに、医療機関などへの手話通訳者・要約筆記者の派遣を行います。	・手話通訳利用者：486人 ・手話通訳者派遣件数：470件 ・要約筆記派遣件数：3件	障がい福祉課